



多様性・混沌・調和～アートと生物の関係をさぐる

- 日時 令和7年6月11日(水) 9時～16時半(予定)
- 場所 東京農大「食と農の博物館」・バイオリウム、世田谷美術館
- 行程 9:00 旧木更津市役所潮見駐車場からバス乗車—10:00～12:00 東京農大「食と農」の博物館 & バイオリウム—12:00～13:00 昼食(各自で)—13:20 世田谷区砧公園駐車場—13:30～15:30 世田谷区立美術館—15:30 砧公園駐車場—16:30 旧木更津市役所潮見駐車場

- 参加費 2400円(入館料・交通費・駐車場代・保険料込み、昼食代は別)
- 申込み 人数25名程度。雨天決行
中郷公民館(98-0802)もしくは右の2次元コードより
<https://logoform.jp/form/2dPg/1009266>



バイオリウム



だいこん踊りで有名な東京農大は、農業だけでなく、林業や醸造から最先端のバイオテクノロジーまで、幅広い研究を実践し、これまで多様な人材を育ててきました。食と農の博物館では、この度進化生物学研究所の調査・研究の裏側を実態に即して見せる企画展を見学します。

また、知る人ぞ知る大温室「バイオリウム」で貴重な動植物や多肉植物などを観察し、研究員によるマニアックな解説でより深く学びます。

よこお ただ のり 横尾忠則

は日本を代表するグラフィックデザイナーで、それと築かなく

てもみなさんも何回か見たことがあると思います。

あと2年で90歳になろうとしている今、絵画を「連歌」に見立てて「連画」と名付けて、自分の中で前作と関りながら変幻自在に絵を紡ぎ出していけるのか、新たな挑戦ともいえる作品を鑑賞したいと思います。

